



What is Gelatin?

温めれば溶けて。
冷やせば固まる。



繊維状のたんぱく質「コラーゲン」を
様々な用途で活用するために加工したも
のが「ゼラチン」

- 本社所在地：滋賀県野洲市
- 事業概要：ゼラチン・コラーゲンペプチド・食品添加剂の製造・販売
- 常時使用する従業員：34名（2024年3月期）
- 現在の売上高：16億円（2024年3月期）
- 法人番号：2160001015707
- Web：<https://jeleaf.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
中井 圭介

コア・コンピタンスを磨き、従業員満足と顧客満足の充実を図る

当社は1934年に国産初の写真フィルム用ゼラチンの生産工場として産声をあげ、創業90年を突破しました。戦後は食用ゼラチンの製造に注力し日本の食文化の発展に貢献してまいりました。とりわけリーフ(板)ゼラチンは国内で製造においてはオンリーワン、販売においてはナンバーワンの地位を保持しており、業務用ゼラチン全体でも国内トップシェアを誇ります。社会環境が激変する中においても、ゼラチン・コラーゲンは今後も人々の生活に不可欠な存在であると確信しており、冒頭の企業理念のもと、従業員とその家族には夢と幸せを、お客様には笑顔と感動を届けるべく、創業100年へ向け、売上高100億円企業への成長を決意しました。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年3月期の売上高100億円達成を目標に掲げます。
そのための事業戦略として、本社工場建設にて生産能力拡大を図り、国内シェア拡大、輸出拡大、新市場への進出を推し進めます。

課題

- ・本社と製造工場が離れており経営効率が悪い
- ・生産キャパが限界のため増産や新事業展開ができない
- ・工場の老朽化が進んでおり従業員の労働環境改善が必要
- ・自動化が進んでおらず人手不足を見据え省力化が急務

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 売上高100億円達成のための具体的措置
 - ① バルク品の販売量拡大
 - ② 医薬品グレード製品への進出
 - ③ 業務用ゼラチン国内シェアのさらなる拡大
 - ④ グミ事業の生産確立と販売強化

実施体制

- 社内体制
 - ・ 社長をリーダーとし、社内各部門を跨いでの売上高100億円達成プロジェクトチームを立ち上げ事業を推進
 - ・ 係長・課長ポストは適正により関連部署への積極的な配置転換
- 社外体制
 - ・ 監査役の他、弁護士・税理士・社労士、一級建築士と顧問契約
 - ・ 銀行3行と政策金融公庫による四半期ごとの財務チェック

売上高100億円達成の目標と具体的措置

【具体的措置①】 バルク品の販売量拡大

既存工場の生産力で大幅な売上拡大を目指すことはできない。そのため本社工場を建設し生産キャパを拡大する。特に主力のバルク品においては、現在の250mt/年から1,000mt/年への増産を目指す。ゼラチン生産量世界3位のベルギーPB社や牛皮ゼラチン生産量世界最大クラスのトルコHalavet社の粉末ゼラチンの販売を強化する。

【具体的措置②】 医薬品グレード製品に進出

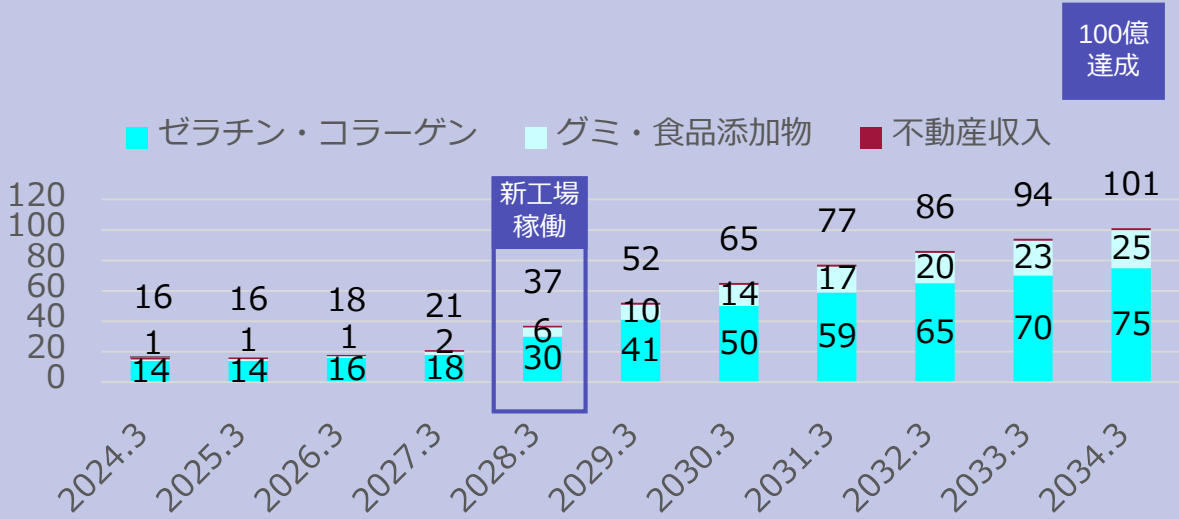
現在は食用ゼラチンの製造に特化しているが、今後はより高付加価値の医薬品グレードに進出すべく製造許認可取得を進める。医薬品グレード製品は4,000mt/年の国内市場があるが、売上高100億円達成に向け30%のシェア獲得を目指す。

【具体的措置③】 業務用ゼラチン国内シェアのさらなる拡大

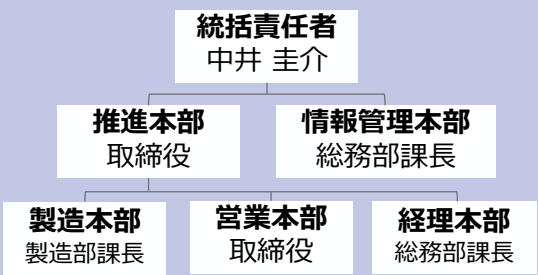
業務用ゼラチンは当社が国内トップ40%のシェアを誇る主力製品だが、中でも外食産業向けにおいては人手不足の深刻化を背景に、素材であるゼラチンから、より加工度の高い粉末プレミックス品やLL品(冷やすだけの杏仁豆腐等)の活用へシフトしている。そのためこのニーズをチャンスと捉え、増産によるシェア拡大を推し進め国内シェア70%までの引き上げを目指す。また日本製食品のブランド力を活かし、アジア市場へのリーフゼラチン及びハラール認証品等の展開強化で輸出を拡大する。

【具体的措置④】 グミ事業の生産確立と販売強化

近年、ガムの代替品としてグミ市場が拡大しており、当社も既に菓子メーカーのOEM製造及び自社オリジナル商品の外注製造に参入している。しかしながら生産キャパの限界により本格的な事業展開ができないままだった。本社工場建設により生産キャパが拡大するため、OEM製造の拡大に加え、自社オリジナル商品製造の内製化及びラインナップ拡充を図り、アジア市場への輸出展開も行うことで、市場内での地位を目指す。



【プロジェクト推進体制】



【人材確保計画】

年度	製造	営業
2025	0	0
2026	0	0
2027	0	2
2028	0	1